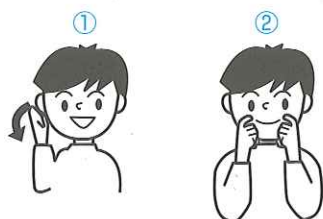


(5) 聴覚障害者のコミュニケーション手段

聴覚障害者のコミュニケーションの手段には、ある事柄の意味や内容を表情や身振り、手の動きなどで伝えあう[手話]の他、相手の口や舌の動きを見る[口語]、要件を紙に書いて互いの意思を伝えあう[筆談]、文字や数字を空間に書く[空書]、指を使って日本語の五十音を表す文字記号の[指文字]があり、状況により組みあわせて使われます。視覚障害と重複の場合は、互いの手のひらに文字を書いて伝えあうなどの方法も使われます。

手話の例(あいさつ)

「おはようございます」



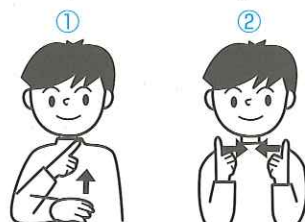
「こんばんは」



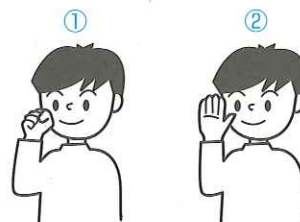
「こんにちは」



「はじめまして」



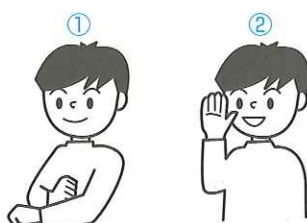
「よろしくお願いします」



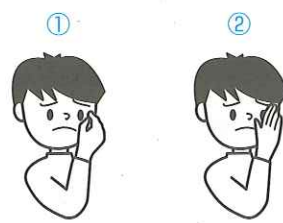
「ありがとう」



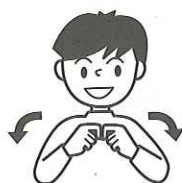
「ご苦労様」



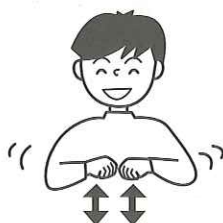
「すみません」



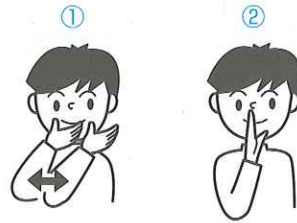
「久しぶり」



「元気」



「ごちそうさま」



指文字

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ		ユ		ヨ

ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ	ヰ		ヱ	ヲ
ン	丨			
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ	ビ	ブ	ベ	ボ
パ	ピ	プ	ペ	ポ

実際に指文字を行う場合は、左指右指いずれの指でもよいですが、上記の図表は相対する人の右の指による指文字を正面から見た場合のもので、

- ①「ソ」「ハ」……斜指から見た図。実際には相手の人に指先を向ける。
- ②「ノ」……人差指で空中にノの字を書く。
- ③「リ」……人差指と中指を立て少し間を開き、リの字を空中に書く。
- ④「ヲ」……ヲの指文字をそのまま後方に引く。

- ⑤「ン」……人差指で空中にンの字を書く。
- ⑥「丨」……人差指で縦に線を書き下ろす。
- ⑦「↑」……矢印は手の移動の方向を示す。
- ⑧促音、拗音「ッ」「ャ」「ュ」「ョ」……それぞれの形をつくり後方に引く。

要約筆記

要約筆記は、筆談の一種で、手話のわからない中途障害者や難聴者への情報伝達です。手話通訳の内容をより正確に伝えるため手話通訳と併用することが望めます。

一般に、要約筆記者が講演会やイベント等での講演内容を即座に要約してフィルムに記入し、オーバーヘッドプロジェクター（OHP）を使用してスクリーンに映写する方法で行います。最近ではパソコンを使用して行うことが増えてきています。また、個人の会話等ではノートテイクにより行います。

OHPによる要約筆記



ノートテイクによる要約筆記



1 技術的資料

(6) 非常警報設備 ①

設計のポイント

火災などの緊急の事態が発生したとき、現行の消防法では、自動火災報知設備の地区音響装置、放送設備、非常ベル、避難口誘導灯などが規定されていますが、視聴覚障害者に対しては必ずしも的確な情報伝達ができる手段とはいえません。視聴覚障害者等が入所、利用する病院、社会福祉施設等ではもとより、不特定かつ多数の者が利用する劇場、集会場、大規模店舗、宿泊施設等では、緊急情報や避難情報の伝達に関して視聴覚障害者等に十分に配慮した施設づくりが望まれます。

□非常警報は、主に緊急事態発生事実の伝達、緊急情報（避難情報）の伝達、避難方向等の伝達の3つの局面に分けられ、それぞれの局面において障害種別に応じた情報提供手段を整備することが望まれます。

視覚障害者に対する非常警報設備

- 緊急事態発生事実の伝達手段としては、現行の自動警報設備の非常ベル・サイレン・自動音声警報の音声による伝達のほか、就寝中のバイブレーター等の触覚（振動）による伝達の併用や弱視者への補助手段としてキセノンランプ等による伝達が有効です。
- 緊急情報の伝達手段としては、現行の非常放送のほか、自動音声警報など音声による伝達が有効です。
- 避難方向等の伝達手段としては、誘導音装置付誘導灯の音声による誘導の伝達のほか弱視者には点滅形誘導灯、光走行式避難誘導も有効です。

聴覚障害者に対する非常警報設備

- 緊急事態発生事実の伝達手段としては、キセノンランプ、回転灯等の視覚による伝達、又はバイブレーター等による伝達が有効です。
- 緊急情報の伝達手段としては、放送設備と連携した文字表示による伝達、補聴器用の磁気ループ等による伝達が有効です。
- 避難方向の伝達手段としては、現行の誘導灯が適当ですが、点滅形誘導灯、光走行式避難誘導も有効です。

視聴覚障害者の対応設備例

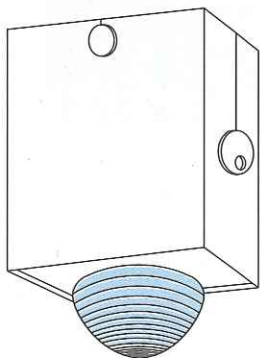
対象物区分	視聴覚障害者別	緊急事態発生事実の伝達							緊急情報の伝達（避難情報）				避難方向等の伝達		
		非常ベル	自動式サイレン	自動音声警報	バイブレーター	キセノンランプ	磁気ループ等	非常用構内通報器等	非常放送	自動音声警報	非常文字表示	磁気ループ等	点滅形誘導灯	誘導音装置付誘導灯	光走行式避難誘導
劇場・集会場	視覚障害者	○	○	○	—	△	—	—	○	○	—	—	△	○	△
	聴覚障害者	—	—	—	—	●	▲	—	—	—	●	▲	●	—	●
病院・社会福祉施設	視覚障害者	○	○	○	○	△	—	—	○	○	—	—	△	○	△
	聴覚障害者	—	—	—	●	●	—	—	—	—	●	—	●	—	●
大規模店舗	視覚障害者	○	○	○	—	△	—	—	○	○	—	—	△	○	△
	聴覚障害者	—	—	—	—	●	—	—	—	—	●	—	●	—	●
宿泊施設	視覚障害者	○	○	○	○	△	—	○	○	○	—	—	△	○	△
	聴覚障害者	—	—	—	●	●	—	●	—	—	●	—	●	—	●

注)
 ○視覚障害者全般に対し有効なもの
 ●聴覚障害者全般に有効なもの
 △弱視者（光覚を有するもの）に有効なもの
 ▲難聴者に有効なもの

●整備例

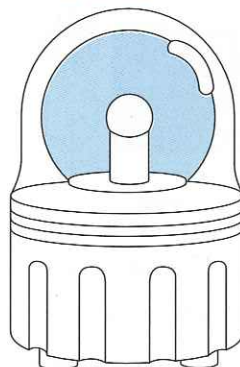
緊急事態発生事実の伝達手段

キセノンランプ



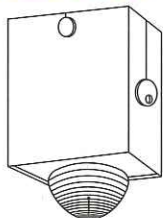
短時間の放電発光を利用した点滅装置です。フラッシュランプが点滅し、視覚により緊急事態であることを伝えます。

パトライト（回転灯）

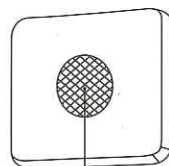


スイッチを押すことによって、緊急時や情報を伝達したい場合などにランプが回転し、視覚により緊急事態であることを伝えます。

既設誘導灯に追加取付した例



点滅装置



誘導音スピーカー

既設した通常の誘導灯にキセノンランプ又は白熱電球が点滅する装置を追加したものです。

磁気ループ

聴覚障害者のための補聴器誘導システムで、床などに敷設したループアンテナに伝達したい音声信号を流し、磁界を発生させ補聴器に組み込まれた誘導コイルで拾い、増幅して聴くシステムです。

非常用構内通報器・警報機

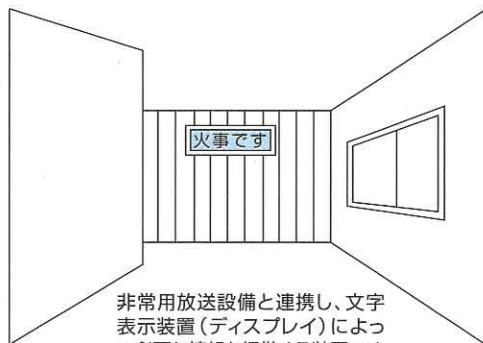
緊急事態の発生を伝達するため、内線電話機や居室内テレビの同軸ケーブル等を利用し、音声やテレビ画面により全施設内一斉に通報や警報ができるシステムのことをいいます。両者とも宿泊施設等での利用が有効です。

携帯式バイブレーター

自動火災報知設備からの信号を受けて、振動によって直接人体を刺激し、異常を伝達する装置です。振動装置をベッド等に固定する方式（固定式）や身体の一部に腕時計のように巻き付ける方式（移動式）によって就寝中に利用します。

緊急情報（避難情報）の伝達手段

非常用文字表示装置



非常用放送設備と連携し、文字表示装置（ディスプレイ）によって必要な情報を提供する装置です。

自動音声警報装置

緊急情報を確実に伝達できるように、非常放送設備に音声等による警報を自動的に放送する機能を付加したものをいいます。